

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 22	今泉クリーンセンター管理運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	環境部 環境センター		評価者 環境センター課長 鈴木 真理
一般	会計	款 20	項 10 目 10
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境	施策の方針名 3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等	意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・維持管理事業 ・維持修繕事業 ・粗大ごみ施設、中継施設運転事業	・維持管理事業 ・維持修繕事業 ・粗大ごみ施設、中継施設運転事業	・維持管理事業 ・維持修繕事業 ・粗大ごみ施設、中継施設運転事業
予算額（千円）	253,713	249,304	
国県支出金			
地方債			
その他	150	356	
一般財源	253,563	248,948	0
当初人員配置数	18.3	15.0	0.0
人件費（千円）	84,240	53,118	0
事業実績	・維持管理事業 ・維持修繕事業 ・粗大ごみ施設、中継施設運転事業		
決算額（千円）	235,170		
国県支出金			
地方債			
その他	366		
一般財源	234,804	0	0
人員配置実績数	19.3	0.0	0.0
人件費（千円）	83,526	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名							
	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・施設の現状維持や安全確保が主目的となる事業のため、数値を評価基準とすることにはなじまない

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	計画停止期間を除く施設停止の日数	日	0	0	0			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・外部要因は特にない
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・計画的な保安全管理により、年間を通じて施設停止ゼロの安定運用を達成した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・日常点検と定期保全に努め、燃やすごみ中継処理機能を計画通り運用することで、市民や事業者が排出した燃やすごみの適正な処理に寄与した。これにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方角性 ⇒	評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方角性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		解決	施設廻りの臭気対策	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・ごみ中継施設、粗大ごみ処理施設として適正に運営するための必要な維持管理を行う。 ・今泉クリーンセンターは、中継施設機能を終了後は、生ごみ資源化施設を整備する計画としている。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市と同様の仕様、条件下で運用している施設があまりないため比較が困難である。
----------------------	--